

教育警察委員会の概要(教育)			
開催年月日	令和6年7月1日	開会、閉会時間	13時21分から 14時15分まで
委員の出欠	出席：広瀬委員長、山内副委員長 岩井委員、渡辺委員、川上委員、田中委員、酒向委員、牧田委員 欠席：なし		
(付託案件の可否)			
(予算)	議第79号	令和6年度岐阜県一般会計補正予算のうち歳出予算補正中教育警察委員会関係	(可決)
(条例その他)	議第86号	加茂高等学校第1棟建築工事の請負契約について	(可決)
(請願)	請願第25号	中学校の免許外教科担任解消に努めることを求める請願	(不採択)
(質疑の内容)			
発言者	発言内容		
【6月補正予算】			
渡辺委員	県立学校のDX推進について、なぜこの5校を指定したのか。DXに特化したカリキュラムがあるのか。		
高校教育課長	デジタル人材を育成する上で、各地区を牽引する高校として指定した。これから必要なカリキュラムを整えていく。		
渡辺委員	偏差値の高い高校が指定されているが、岐阜県の特徴ある高校を作るという意味では、それなりの考えを持った高校を選定し、それに特化したカリキュラムなどを作っていくべきではないか。		
高校教育課長	指定校の5校は、デジタル人材として求められる教科横断的な、探究的な学びを強化できる高校として指定した。今後、指定校の成果等を県内に普及させていくことが大切であると考えている。		
渡辺委員	今後は、県として指定する高校を増やし、DXを推進していくのか。		
高校教育課長	すべての県立学校にふるさと学習を含めた岐阜県型探究学習を展開しており、DX加速化推進事業の成果は、この岐阜県型探究学習のなかで県内に広めていきたい。		
岩井委員	予算はどのように使うのか。		
高校教育課長	主に、ビッグデータを処理するための高性能パソコンや人間の動作を記録するモーションキャプチャーなどの備品購入費として5校で4,250万円を計上している。		
岩井委員	購入した備品をどのように使用するのか。		
高校教育課長	学校によって異なるが、総合的な探究の時間において、新しく整備された備品を活用して学習を進めることが考えられる。		
岩井委員	高校で得た学びを、大学などの次のステップにどのように繋げていくのか。		

高校教育課長	この事業は、大学や企業と連携することを想定している。高校で培った学びが生涯に渡ってつながっていくよう展開していきたい。
岩井委員	デジタル人材の育成という課題に対して、本事業の過程はどのように捉えているか。
高校教育課長	生徒個人々の学びが卒業後も継続していけるように、本事業をキャリア教育の観点としても捉えながら進めていきたい。
岩井委員	年間の進捗や成果は、どのように確認するか。
高校教育課長	事業初年度であるため、教育委員会が伴走し、各校と一体となって事業を進めるとともに、生徒がそれぞれの学校の枠を超えて活動内容等を交流できる場を設け、互いに刺激し合いながら進めていきたい。
岩井委員	今後、指定校以外に事業を広げていくためには、県独自の予算が必要になるのではないか。
高校教育課長	県立学校で実施している岐阜県型探究学習を活かして広めていきたいと考えている。
渡辺委員	予算のかかる事業であるが、今後はどのような方針で行っていくのか。
教育長	過去に専門科を対象とした同様の国費事業があったため、今回は普通科を中心に選定した経緯がある。文部科学省は来年度以降も今年度と同様の事業化の意向を示していることから、来年度以降も同様の事業があれば採択されるよう動く。同様の事業がない場合は、今年度の成果を踏まえ、県予算の範囲内で、他の学校にも同様の学びの機会が与えられるようにしたい。
【条例その他】加茂高等学校第1棟建築工事の請負契約について	
酒向委員	県教育委員会が主体で建設を進めるため、学校長が詳細を把握していないという話を聞く。校長やPTA、生徒会など関係者の意見は聞いているのか。
教育財務課長	校長など関係者の意見を聞いているが、校舎建設は基本計画や設計などに年数を要するため、計画に現校長の意見が反映されていないこともある。建設までの各段階でその都度現場に行き、意見を聞きながら進めている。
酒向委員	高校生が高校以外の図書館などで自主勉強をしている。今回建て替える校舎を含め、高校には自主学習を行う部屋が少ないのか。
教育財務課長	学校から要望があれば、自主学習ができる部屋の確保について、なるべく対応していきたい。
【請願】中学校の免許外教科担任解消に努めることを求める請願	
	※田中委員より不採択とすべき発言があり、採決の結果、不採択とすべきものとされた。
【報告】令和5年度岐阜県一般会計繰越明許費繰越計算書	
	(質疑なし)
【報告】令和5年度岐阜県一般会計事故繰越し繰越計算書	
	(質疑なし)

【報告】令和5年度「清流の国ぎふ」創生総合戦略実施状況報告書	
	(質疑なし)
【その他】	
酒向委員	小中学校の統廃合について、地元住民も統廃合の必要性は十分に理解しているが、様々な意見があり、市町村としての結論がまとまらない状況。小中一貫の義務教育学校に統合するか、複式学級での存続とするか、市町村教育委員会が判断するにあたり、県教育委員会としてどのようなアドバイスをするか。
義務教育課長	例えば、複式学級であれば、オンライン授業を取り入れる場合に効果的な授業方法などを、小中一貫校であれば、系統的なカリキュラムの好事例を紹介するなどしている。
酒向委員	統廃合により学校が無くなる地域にとっては非常に抵抗があるので、疎外感を与えることがないように、県教育委員会からも細かく説明してほしい。
酒向委員	留守家庭児童教室について、女性の活躍が進みニーズが増えているなか、祖父母がいる場合は利用できないという条件があるため、時代に即した条件に見直してほしい。また、県補助金の上限額を撤廃してほしい。
義務教育総括監	放課後児童クラブについては、県教育委員会は所管していないが、ニーズが多いことは承知しており、ご意見を関係部局へ伝える(委員会後、子ども・女性局へ伝達し、子ども・女性局から酒向委員へ説明済み)。
川上委員	校舎の粉塵や照度などの検査で使用する機器は、教育委員会で準備しているのか。
体育健康課長	検査機器は学校の設置者が準備することになっている。県立学校の場合は、各地区で指定している管理校に機器を配置し、地区内の学校間で効率的に使用する形をとっている。
川上委員	検知管などの消耗品を学校薬剤師が負担することはあるか。
体育健康課長	県立学校の場合、消耗品は予算を確保して対応しており、学校薬剤師が負担することはない。
川上委員	県立の学校薬剤師の報酬は年額約150,000円か。市町村立の学校薬剤師は、県立の学校薬剤師と同じ業務を行うにも関わらず報酬に大きく差があり、また、消耗品を個人負担しているという話を聞く。それぞれ、市町村に対して何かアプローチはできないか。
体育健康課長	県立の学校薬剤師の報酬は、今年度は155,600円。委員からいただいた意見を市町村にお伝えする。